

児童虐待の相談が急増



滋賀県児童相談所へ聞き取り調査

共産党野洲市議団ら党地方議員団は17日、滋賀県中央児童相談所を訪れ、県内の実態を聞くとともに、相談・支援体制の充実を求めました。9月議会でも市の取り組みについて質問します。

現在、滋賀県には大津と彦根に県立の児童家庭相談センターがあります。
児童福祉法の改正に伴つて、平成17年4月から、市町が第一義的に児童家庭相談を行なう事例などの対応や市町との連携・支援を行うことになりました。

県全体でみると昨年度は対前年比467件増。子ども人口100人にあたり1.09件で、初めて1%を超えました。

虐待種別では、「保護の怠慢なし」拒否（ネグレクト）の割合が5割を占め、毎年あります。次いで身体的虐待（14.31%）、心理的虐待（4.31%）となっています。年齢別では小学校では、「学校」が全体の3割。次いで「市町」となっています。学生が約4割。年齢別では小

相談・支援体制の充実が急務です

現在、滋賀県には大津と彦根に県立の児童家庭相談センターがあります。

待者は「実母が全体の7割」でその深刻さを浮き彫りにしています。



ところが児童福祉司の配置基準が低いために、相当な数の相談に対応しなければなりません。専門的な児童心理司も不足しており、こうした相談・支援体制の拡充が急務です。

また虐待による一時保護件数は306件で、延べ件数は対前年の1.5倍、中央児童相談所の施設は、今年に入つて「満員」で、入所待ちという状況にもなっています。

一般質問 8~10日です

9月定例市議会の一般質問は、8~10日に行われます。ぜひ傍聴にお越しください。



小菅六雄 市議



野並享子 市議



太田健一 市議

国が国民健康保険を県単位の広域化に。社会保障制度を守れと求めます。鳥獣被害防止対策の取り組みを求めます。県立高校の統廃合やめよを求めます。

滋賀県では2ヶ所の児童相談所で十分な体制とは言えません。県及び野洲市の相談・支援体制の充実を求めます。同和行政の廃止を求めます。

市内循環バスは4月から新たにスタートしました。この間の問題点や課題を明らかにし、市民が利用しやすいバス運行を求めます。野洲市の観光・まちづくりを求めます。